希望新聞

東日本大震災希望新聞取材班
〒100－8051（住所不要）毎日新聞生活報道部
ファクス03・3212・5177
メールkibou@mainichi.co.jp

被災した皆さんに役立つ情報や応援メッセージをお待ちしています。「ここにいます」「さがしています」「がんばろう」への投稿は、氏名、住所、年齢、職業、電話番号（あればメールアドレスも）を明記してください。

ここにいます

坂下信二さん

＜岩手県＞
★坂下信二さん（68）＝宮古市大通3（宮古小）
自宅の1階が浸水しましたが、妻も私も無事です。避難所ではボランティアや医師に支えられています。福島市に住む兄の勝三と連絡がとれません。電気が復旧したら自宅に戻りますので、連絡をください。

＜宮城県＞
★東しのぶさん（74）＝石巻市渡波（青森県階上町出身）　妹の水合千枝（72）宅に長男の繁昭（44）、孫の翔太（20）と一緒にいます。長女の浩美（47）へ。水合宅（0178・88・3855）に連絡ください。私が働いていた水産加工販売店「宇津美商店」社長、宇津美清志さん（50代半ば）は、ともに津波にのまれながら助かりましたが、その後連絡が取れません。

★斎藤貞一さん（74）＝塩釜市藤倉（塩釜市公民館）　亘理町の親戚、吉田ゲンジ（60代くらい）、フミコへ。1人暮らしのため1人で避難していますが、元気です。31日の昼まで公民館にいて、自宅に戻ります。留守番電話に伝言を入れておいてください。

★佐藤紀代さん（53、旧姓・小松）＝気仙沼市弁天町（気仙沼市民会館）　仙台の同級生のみんな、どうしてますか？私も頑張って生きているよ。家も店もなくなったけど一からやりなおしだ。090・6252・3321へ連絡ください。

★佐藤治子さん（80）＝東松島市野蒜西余景13の11（東松島市野蒜寺沢5の定林寺）　夫の富士男の墓がある照源寺（女川町浦宿浜）の三宅哲也住職へ。私は無事に避難しています。元気ですので、心配しないでください。

★藤村ちよみさん（48）＝気仙沼市東八幡前（鹿折中）　いとこの岩手県陸前高田市、中名生シンイチロウ（60歳ぐらい）と伯母と連絡が取れなくて心配しています。私たちは元気です。早く連絡が付けばと思っています。

★細川俊子さん（68）＝気仙沼市西八幡町（気仙沼市民会館中ホール）　28年の付き合いがある友人で階上地区の管野光代さん（68）の安否を心配しています。

さがしています

＜岩手、宮城県＞
☆岩手県大船渡市末崎町小中井、ワカメやカキの養殖業者、鎌田芳勝さん（60代）、宮城県気仙沼市河原田2、バイク自転車修理販売店経営、小松雅澄さん（60代）へ　居場所のわからない2人を遠縁の山形県高畠町、高橋治兵衛さん（82）が心配しています。「自宅（0238・52・0103）へ連絡願います」

＜岩手県＞
☆大槌町の伊藤トシさん（78）と娘の高清水陽子さん（50代）へ　トシさんの弟で東京都葛飾区の伊藤文都（ぶんじ）さん（72）が自宅（03・3627・4749）への連絡を待っています。伊藤さんと高清水さんは県立大槌高校に避難しているようですが「消息がわからず心配です」。

＜宮城県＞
☆東松島市の手代木（てしろぎ）勝さん（53）へ　妻の佳子さん（41）と長男の翔伍さん（8）が自宅で待っています。勤務先の運送会社「カイリク」（石巻市）から自家用車で出て、その後の安否がわかりません。消息を知る方は、佳子さんの携帯（080・3198・4594）へ。

☆東松島市大曲土手下南の似内（にたない）と　よ子さん（80代ぐらい）と長男正雄さん、次男信夫さんへ　友人の栃木県足利市、清水典子さん（49）より。「3人で逃げた後の行方がわかりません。携帯電話（080・6786・4856）に連絡ください」

☆気仙沼市大島の水上俊寛さんとご家族へ　千葉県山武市の秋葉せい子さん（54）が心配しています。水上さんは民宿を経営しており、毎年のように訪れていたそうです。「20年来の付き合い。消息を知る方は自宅（0475・86・2317）に電話ください」

☆東松島市の松浦奈々子さん（50代）へ　松浦さんが青森市新城に住んでいたときの隣人の安田登美子さん（68）より。「今でも年賀状をやりとりしています。連絡待っています」

☆多賀城市の松永淳子さん（66）へ　東京都板橋区の高橋美智子さん（66）が自宅（03・3937・4194）への連絡を求めています。2人は板橋区立赤塚小学校、都立豊島高校の同級生でした。

☆東松島市野蒜の高橋尚康さん（66）へ　長女の宏江さん（36）が捜しています。尚康さんは国土交通省を退職後、水門管理を担当。石巻湾に流れ込む河口付近から、吉田川か鳴瀬川の上流へ流されていくのを見た人がいます。身長165～170㌢、体重約60㌔、国土交通省の紺のジャンパーにチェックのような模様の深緑のズボンを着ていました。情報を宏江さん宅（0225・83・3988）にお願いします。

☆名取市下増田田子作、小野日菜子さん（14）へ　友達の福島市、下釜京佳さん（14）が捜しています。福島市内の小学校で同じクラスでした。「自宅（024・558・2642）に連絡お願いします。こちらは原発が心配で、外に出ないようにしています」

＜福島県＞
☆浪江町の山田勝さん（70代）とご家族へ　親戚で北海道苫小牧市の石山進太郎さん（84）が自宅（0144・34・3405）で電話待っています。

☆南相馬市の佐藤とみ子さん（60）へ　フジパン横浜工場の同僚だった、大阪市城東区の大畑妙子さん（59）が連絡を待っています。福島県喜多方市押切に避難しているという情報があります。「ベーカリー（06・6961・7084）に電話をください」

みつかりました

▽29日に掲載された福島県浪江町の小学校教諭、三瓶みゆきさん（51）は無事でした。クラスの保護者らが新聞を見て本人に伝え同日夜、友人の静岡県小山町の杉山智也子さん（51）に電話がありました。三瓶さんは地震当日、子供たちを避難させ学校に宿泊。自宅は福島第1原発から26㌔地点にあり、町を出て福島県二本松市に家を借りたそうです。杉山さんは「浪江町役場職員のご主人は地震後1回だけ帰宅し、ずっと職場詰めだそうです。家族も無事でよかった」と涙ぐんでいました。

がんばろう

マルタ・アルゲリッチさん

●アルゼンチン出身の世界的ピアニスト、マルタ・アルゲリッチさん
子供のとき父から、地下を掘っていくと日本につく、と聞いて以来、日本はどんな国なのかといつも想像していました。
ピアニストになってからは野村光一さん（音楽評論家）、一緒に別府アルゲリッチ音楽祭をしている伊藤京子さん（ピアニスト）、私が入院したとき看病してくれた海老彰子さん（同）、コンサートに顔を見せてくれるファンの方々、本当に温かい人ばかりで、日本は私にとって特別な場所です。
大地震のニュースを聞いてから、自分がどうしたらいいか、そればかり考えていました。そして5月に日本で開くアルゲリッチ音楽祭は中止せず、こういうときこそ日本の皆さんと一緒にいて、困難を乗り越えたいと思いました。復興には長い期間かかるでしょうから、音楽祭の演奏をチャリティーCDにして収益金をすべて役立てるように、世界の参加音楽家に賛同を求めています。日本の皆さん、体調に気を付けて、心を一つにして希望を持ちましょう。
●18日朝刊（大阪本社発行）に掲載された、藤原昂平ちゃん（1歳4カ月）のその後が気になります。高熱の中、避難所でストーブもつけられず薬もないという記事に胸が締め付けられました。その後、お父さんとは連絡が取れたのでしょうか。被災した皆さん、特に小さい子を連れているお父さんお母さんは、毎日が大変だと思います。これ以上、頑張れないところまで来ているでしょう。あと一踏ん張りです＝大阪府吹田市、主婦、増井悦子さん（72）

希望新聞ツイッターに寄せられたメッセージより

●被災地の皆さまの心境を考えると心が痛みます。日々いろんな活動を見て無力な自分がイヤになりました。でも平凡な私でも何かできるのでは、と思い仲間に声をかけ行動に移してみました。京都から応援しています＝tomomi1123
●私たちが頑張るから、被災者の方々は心と身体を癒やす事に集中してください。頑張らなくていいから！＝Ripley2001

ツイッターでも随時発信

ツイッター（@mainichi_kibou）でも、被災した皆さんへのサポート情報や、各地の支援の動きを随時発信しています。これまでのツイートはこちらで検索できます。
http://bit.ly/frO91P

サポート情報

～東日本大震災～

30日現在

入浴

営業時間などは変更の可能性がある。
＜岩手県＞花の湯＝釜石市野田町1☎0193・25・0268▽湯ったり館＝宮古市茂市☎0193・72・3800▽瀬峯坂温泉宝珠の湯＝北上市和賀町岩崎2☎0197・73・8020
＜宮城県＞◆仙台市パワー温泉リフレ泉パークタウン店＝泉区高森4☎022・777・2615▽極楽湯仙台南店＝太白区西多賀5☎0222・243・4126（午前8時から整理券配布）
◆仙台市外　極楽湯名取店＝名取市田高原☎022・383・1126（午前8時から整理券配布）▽とみや大清水ゆっぽ＝富谷町大清水1☎022・348・0526（1人30分）▽遠刈田温泉の旅館など＝蔵王町観光協会☎0224・34・2725▽鳴子温泉郷の旅館など＝鳴子観光・旅館案内センター☎0229・83・3441
＜福島県＞極楽湯福島店＝福島市栄町1☎024・534・0026▽飯坂温泉の日帰り入浴＝飯坂温泉観光協会☎024・542・4241▽極楽湯福島いわき店＝いわき市葉山2☎0246・76・1926▽大江戸温泉物語あいづ＝会津若松市神指町北四合東神指☎0242・22・0600▽極楽湯福島郡山店＝郡山市富久山町八山田南広谷☎024・934・4126▽ゆ処高見＝南相馬市原町区高見町2☎0244・24・5666
＜茨城県＞鹿島セントラル天然温泉ゆの華＝神栖市大野原4☎0299・90・0261▽中郷温泉通りゃんせ＝北茨城市中郷町日棚☎0293・44・0026（被災市民に31日まで無料開放、整理券制「男女各160人、1人15分」）▽健康保養センターときわ路＝常陸太田市増井町☎0294・72・4141
＜風呂紹介サイト＞
関西の銭湯好きグループ「ふろいこか～プロジェクト」が営業中の入浴施設情報を集めて公開している。http://bit.ly/furoiko

給水

30日午前8時現在、8県の少なくとも29万戸で断水が続いている。復旧状況や給水場所などについて、主な自治体の窓口は以下の通り。給水を受けるには、ポリタンクなど容器の持参が必要。
＜宮城県＞仙台市☎022・748・1111▽気仙沼市☎0226・23・9900▽石巻市と東松島市（石巻地方広域水道企業団）☎0225・95・6711▽多賀城市☎022・368・1141▽塩釜市☎022・364・1411、1412▽名取市☎022・384・2111▽岩沼市☎0223・22・1111▽松島町☎0223・54・5701▽利府町☎022・767・2111▽富谷町☎022・358・3111▽亘理町☎0223・34・1111▽七ケ浜町☎022・357・7456▽山元町☎0223・37・1120
＜福島県＞相馬市と新地町（相馬地方広域水道企業団災害対策本部）☎0244・35・1020▽南相馬市☎0244・24・5271▽いわき市☎0246・22・9311
＜茨城県＞神栖市☎0299・90・1164▽北茨城市☎0293・43・1111・521・7221
＜茨城県＞救急医療情報システムで病院案内☎029・241・4199

避難所の脇にお風呂を建設する避難者たち＝岩手県大槌町の大徳院で29日、須賀川理撮影

福祉

■介護支援
仙台市や宮城県石巻市のNPO法人などでつくる「東北関東大震災・共同支援ネットワーク」が、定員を大幅に上回る被災者を受け入れている介護施設への職員支援や、被災地で孤立している在宅の高齢者の巡回に取り組んでいる。
既に石巻市や東松島市などのケアホーム、避難所に介護ボランティアを派遣したほか、住宅を回って要支援者の状況調査もしている。同時に介護や看護の有資格者ボランティア、燃料、食料、活動資金の支援も募っている。
連絡先は仙台市青葉区千代田町1の13のコミュニティー広場「ひなたぼっこ」☎022・301・8820。詳細はホームページ（http://kyoudounet.jugem.jp/）で。
■認知症ケア
震災のため、認知症の人や、そのケアをする人が居場所を転々としたり孤立したりするなど困難な状況にある。
公益社団法人「認知症の人と家族の会」（本部・京都市）などは緊急相談窓口を被災県に開設している。
岩手県家族の会臨時支部☎0197・61・5070（平日9～17時）▽宮城県家族の会支部☎0222・263・5091（9～16時）▽大震災・共同支援ネットワーク☎022・301・8820、080・1651・6420（9～21時）▽福島県コールセンター☎024・522・1122（平日10～16時）▽家族の会本部☎0120・294・456、075・811・8418（平日10～15時）
地域認知症サポートプリッジ（東京都）などが運営するウェブサイトでは、認知症の人を受け入れ可能な施設や被災地での困りごとの解決法などの情報を紹介。http://sites.google.com/site/hinchishoshienmptect/
茨城県では老人性認知症疾患センターが相談を受け付けている。☎0297・44・2201（平日9～17時、土曜は12時半まで）

HPで避難者名簿

岩手、宮城、福島の3県はホームページ（HP）で、各県内の避難者名簿を公表している。他県に避難した住民も一部掲載している。宮城県は「避難者情報ダイヤル」（☎022・211・3430）で問い合わせに対応。福島県も「避難所入所者情報センター」（☎024・521・5543～4）で対応している。

×

宮城、福島の両県警は相談が寄せられた行方不明者の一覧をHPで掲載中。岩手県警を含む3県警は、見つかった遺体に関する情報もHPで掲載している。

■主な問い合わせ先■

●行方不明者相談ダイヤル
岩手県警　0120・801・471
宮城県警　022・221・2000
福島県警　0120・510・186
●ライフラインなど
NTT災害用伝言ダイヤル　171
東北電力　0120・175・366
●医療
＜人工透析＞
▽岩手県　人工透析相談窓口　019・629・5471
▽宮城県　仙台社会保険病院　022・275・3111（かかりつけ医が対応していない場合のみ）
▽福島県　県地域医療課窓口　024・521・7221
＜その他＞
日本医師会　03・3946・2121
日本糖尿病協会　0120・151・721
てんかん支援ホットライン　054・245・5446
アレルギー支援ネットワーク　052・485・5208
●生活支援
日弁連電話相談　0120・366・556（平日10～15時）
あしなが育英会　0120・77・8565（遺児らに特別奨学一時金を支給）
心の相談緊急電話　0120・111・916（13～22時。日本臨床心理士会など）
いのちの電話震災ダイヤル　0120・556・189（4月9日まで毎日8～22時）
チャイルドライン支援センター　0120・99・7777（月～土16～21時）
多文化共生マネージャー全国協議会
▽英語　080・3503・9306
（他に中国語、スペイン語などの窓口あり）
＜視聴覚障害者向け＞
「全日本ろうあ連盟」や「全国盲ろう者協会」がウェブサイトで支援情報などを提供。
●省庁
行政相談（東北管区行政評価局）0120・511・556
（茨城行政評価事務所）0120・188・571
金融相談（東北財務局）　022・721・7078
農林水産業の被害相談（農水省）0120・355・567
●金融機関など
岩手銀行　0120・064・626
七十七銀行　0120・78・1177
東邦銀行　0120・104・157
ゆうちょ銀行　0120・108・420
東北労働金庫　022・723・1111
住宅金融支援機構　0120・086・353
日本政策金融公庫　0120・154・505
そんがいほけん相談室（日本損保協会）
0120・107・808または03・3255・1306
地震保険契約会社照会センター0120・501・331
生命保険相談所（生保協会）　0120・226・026
●交通機関
JR東日本　050・2016・1600
JAL（国内線）　0570・025・071
ANA（国内線）　0570・029・222

商業施設

＜いわて生活協同組合＞31日、大槌町内で食料品などの移動販売を実施。12時ごろ～16時ごろ、同町金沢地区と小槌地区で。また同日、山田町の山田北小で正午ごろから炊き出しをする。☎019・687・1321。
＜イオン＞気仙沼店は4月1日10時から店舗屋上部分で営業再開する。入場制限あり。終業時刻は未定。

医療

＜岩手県＞県立大船渡と県立釜石は救急のみ。ほぼ通常診療に戻りつつある。県庁前赤十字社診療テントは31日まで24時間体制で、4月3日まで開設予定◆仙台市外　石巻赤十字は重症のみ▽気仙沼市立は一部通常診療
＜福島県＞問い合わせは県地域医療課☎024・521・7221
＜茨城県＞救急医療情報システムで病院案内☎029・241・4199

その他

■タクシー
被害が大きかった地域を中心に、電話で営業が確認できた主な営業所は以下の通り。
＜岩手県＞◆釜石市（局番0193）　文化タクシー（☎23・5038）7～21時。介護用も対応▽青葉タクシー（☎23・5911）24時間▽中山タクシー（☎23・6648）6時～翌3時。
＜宮城県＞◆気仙沼市（局番0226）　気仙沼観光タクシー（☎22・6000）7～17時▽ミナトタクシー（☎22・1370）7時半～18時▽なすやタクシー（☎22・5866）6～18時。介護用も対応▽気仙沼ハイタク（☎22・5111）6～20時　◆石巻市（局番0225）　石巻交通（☎23・0274）24時間▽石巻タクシー（☎22・3165）7時～随時対応▽石巻観光タクシー（☎95・2311）8～17時▽向陽タクシー（☎93・3660）24時間▽前谷地タクシー（☎72・3078）7～20時。予約あれば時間外も対応▽まるごタクシー（☎93・7661）7～20時▽松山観光タクシー（☎62・2131）6～24時。

■宅配便
主な宅配便の取り扱い状況は次の通り。
＜日本郵便＞「ゆうパック」は東北6県で一部地域を除きほぼ通常通りの集荷・配達を再開した。岩手、宮城の沿岸部、福島の避難対象地域は「支店留め」のみ。
＜ヤマト運輸＞東北6県でほぼ通常通りに集荷・配達。岩手、宮城、福島各県の一部地域では「営業所留め」取り扱いのみ。クール便も30日から福島県の一部地域で再開。営業所の確認は☎0120・01・9625。
＜佐川急便＞東北6県でほぼ通常通りに集荷・配達。岩手、宮城、福島各県の一部地域では「営業店留め」のみ。「営業店留め」地域を除き、クール便の取り扱いも再開した。

■洗濯
営業中の主なコインランドリーの店舗は以下の通り。稼働台数が限られたり、営業時間短縮の場合がある。
＜岩手県＞ホワイトピア＝東緑ケ丘（盛岡市東緑ケ丘）、花巻（花巻市桜木町2）▽アクアコインランドリー摺沢（一関市大東町摺沢荒屋敷）▽ラベージュ久慈本町（久慈市本町3）▽神田クリーニング（同市巽町1）
＜宮城県＞あらうゾウ＝新田2丁目（仙台市宮城野区新田2）、卸町（同区萩野町3）、南小泉（同市若林区南小泉3）、長町南（同市太白区長町南3）▽アクアコインランドリー＝田中前（気仙沼市田中前4）、駅前（JR気仙沼駅前）▽ホワイトピア＝仙台館（仙台市泉区館2）、岩出山（大崎市岩出山東川原）、富谷上桜木（富谷町上桜木1）、亘理（亘理町中町東）、栗駒（栗原市栗駒町岩ケ崎下小路）▽コインランドリーデポプレスポ築館（栗原市築館宮野中央2）▽ミスターランドリー角田（角田市角田錦町）▽ニコニココインランドリー（同市梶賀西）▽コインランドリーアラカワ（名取市小山2）
＜福島県＞ホワイトピア＝郡山五百渕（郡山市菜根4）、伏拝（福島市伏拝台田）、新白河（白河市新白河1）、須賀川（須賀川市中宿）、郡山日和田（郡山市日和田町向山）、小名浜（いわき市小名浜寺廻町）▽コインランドリーデポ＝須賀川花岡（須賀川市花岡）、福島森合（福島市森合北向）、郡山富田（郡山市富田町下小次郎木）、いわき小名浜（いわき市小名浜大原甲新地）▽ピカピカランドリー（相馬市坪田北田）▽ミスターランドリー相馬（同市中村塚ノ町）

「避難先届」の提出 被災者に呼びかけ

―郵便事業会社―

日本郵政グループの郵便事業会社は、東日本大震災の被災者にあてた郵便物を確実に届けるため、「避難先届」の提出を呼びかけている。

同社は30日現在、岩手、宮城、福島の3県の避難所735カ所で約5万3000人の所在を把握し、直接避難所に郵便物を配達している。ただ、自宅と行き来したり、避難所を移動する人も多いため、これらの避難所でも4割近い人については氏名や住所が確認できていない。このため、避難所に用紙を配布し、配達希望先や家族の氏名などを書き込んで、回収用の簡易ポストに提出するよう求めている。【乾達】

明治大1年間 入学延期措置

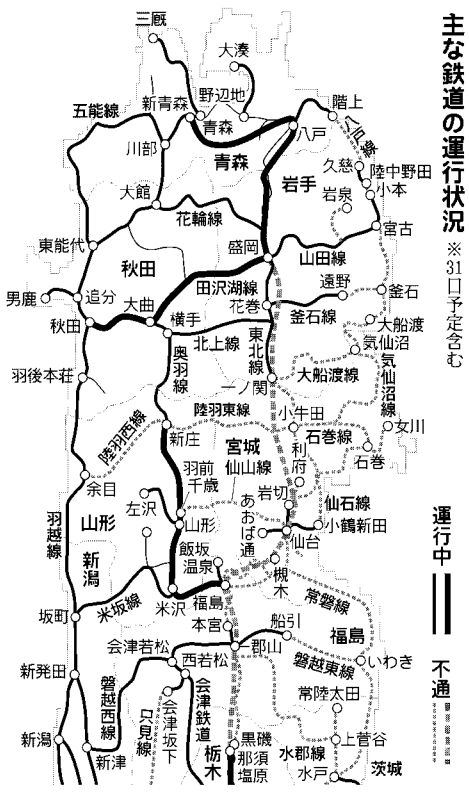
明治大学は30日、東日本大震災で被災した新入生について、入学が困難な場合は1年間の入学延期を認めると発表した。延期手続きをした学生には、入学金と納入済みの学費を一旦返還する。

入学延期ができるのは、親が震災で死亡したり、失職した入学予定者。親の収入が大幅に減ったり、家屋が全半壊などの被害を受けた場合も対象。申請には罹災証明書が必要だが、発行が困難な自治体もあるため、申請期限は当面設けない。

明治大は既に、授業開始を5月に延期し、被災した新入生・在学生の授業料減免などを決めていたが、「長期にわたり地元を離れられない事情などを考慮」して、入学延期の措置を決めた。

問い合わせは各キャンパスの奨学生係。駿河台キャンパス(☎03・3296・4208)▽和泉キャンパス(☎03・5300・1175)▽生田キャンパス(☎044・934・7580)。【田村佳子】

主な鉄道の運行状況 ※31日予定含む



◆主な鉄道の運行状況◆

●新幹線
※31日は山形新幹線の福島―新庄が運転再開予定
<東北新幹線>一ノ関―盛岡が4月8日ごろ。那須塩原―福島が4月中旬。福島―一ノ関が4月下旬。盛岡―新青森、東京―那須塩原は運行
<秋田新幹線>盛岡―秋田で運行
●JR在来線の再開見込み
※31日は東北線の仙台―岩切、奥羽線の福島―米沢、磐越東線の郡山―船引、常磐線の土浦―勝田が運転再開予定。奥羽線は全線再開となる
<東北線>安積永盛―郡山、岩沼―仙台が4月2日。岩切―利府、岩切―松島が同5日。本宮―岩沼、松島―小牛田が4月上旬。黒磯―安積永盛、小牛田―一ノ関が4月中旬
<釜石線>遠野―釜石が4月中旬
<大船渡線>一ノ関―気仙沼が4月1日
<仙山線>山寺―山形が4月1日。仙台―愛子が同4日。愛子―山寺が4月中旬
<仙石線>小鶴新田―東塩釜が4月中旬
<石巻線>小牛田―前谷地が4月中旬
<磐越東線>船引―小野新町が4月中旬
<只見線>会津坂下―会津川口が4月上旬
<陸羽東線>小牛田―新庄が4月3日
<陸羽西線>新庄―余目が4月1日
<常磐線>勝田―高萩が4月9日ごろ。亘理―岩沼が4月中旬。高萩―いわきが4月下旬
<水郡線>常陸青柳―安積永盛、上菅谷―常陸太田が4月中旬。水戸―常陸青柳が4月下旬
●その他
<三陸鉄道北リアス線>宮古―小本、陸中野田―久慈で運行
<仙台市地下鉄>富沢―台原は運行

Q&A

Q 被災した大学生への学費支援はありますか？

A 緊急の奨学金制度などがあります

文部科学省は14日、「大学などで学ぶ意欲のある学生が経済的理由により修学を断念することがないように」と、被災学生に配慮するよう全国の大学に通知しました。具体的には、日本学生支援機構の緊急採用奨学金制度の周知を要請、さらに各大学の経済支援制度や納付時期の猶予などを弾力的に活用するよう求めています。

同機構広報課によると、緊急の奨学金制度の主な対象は、災害救助法が適用される地域に住む学生や被災地に実家がある学生です。その中でも、学費や生活費を払う両親らが死亡・負傷したり、家屋が倒壊して家計が困窮していることが条件となります。

無利子の「緊急採用奨学金」と有利子の「応急採用奨学金」の2種類があり、金額は緊急採用奨学金が月額3万～6万4000円、応急採用奨学金が同3万～12万円。罹災証明書が必要で、在学している大学へ申し込みます。

独自の対応に乗り出した大学もあります。東北大（仙台市）は被災学生の授業料免除を決めました。ただし「対象学生が何人になるのか、現段階では分からない」（学生支援課）ため、免除の割合などは未定です。

その他、国公立や私立を問わず、全国の大学が次々と、授業料減免などを決めています。まずは各大学の担当窓口に相談してください。【広瀬登】

ミニニュース

■チャリティーコンサート・オークション

宇崎竜童さん、渡辺真知子さんら30組以上のアーティストによるチャリティーコンサートとオークション「東北地方太平洋沖地震届け現地へ！希望と勇気！」が4月1～3日、東京都中央区の日本橋高島屋で開かれる。売上金は日本赤十字社を通じて被災地に送られる。1日は15時から、2、3日は11時からで、いずれも17時まで。会場の様子はコミュニティーFMでも放送される。入場無料。日本橋高島屋☎03・3211・4111。

■外国人の帰国支援

国際移住機関（IOM）の東京事務所が、東日本大震災で被災し、帰国を希望する在日外国人を母国に帰す取り組みを進めている。申請には①震災当日まで青森、岩手、山形、宮城、福島、栃木、茨城、千葉の8県に居住②帰国資金がなく、頼る人もいない③未成年、夫を亡くした女性など人道的観点から特に支援が必要――などの要件を満たす必要がある。避難先から最寄りの空港までの交通費を負担し、母国への片道航空券を手配する。英語、中国語、韓国語、タガログ語、ポルトガル語、タイ語での相談を受け付ける。IOM東京事務所☎03・3595・0106。

■心の無料電話相談

日本産業カウンセラー協会（本部・東京）は4月1日から、被災者やその家族らを対象にした相談窓口「心の無料電話相談」を開設する。期間は半年程度、連日13～20時。☎0120・216・633。

■学習塾通じ参考書支援

震災で学習参考書を失った受験生の勉強を支えようと、宮城県気仙沼市の学習塾経営、後藤泰雄さんが、中学・高校生向け参考書の支援を呼び掛けている。届いた数や種類に応じて、学習塾同士のネットワークを生かし気仙沼市内や近隣の塾、受験生らに贈る。求めているのは受験参考書や問題集、単語集などの学習テキスト。あて先は〒988―0063宮城県気仙沼市四反田133の2ゴトウ学習塾。☎0226・23・1310。

■公営住宅の被災者受け入れ■

★被災者向け公営住宅等情報センター
フリーダイヤル 0120・297・722
＊9～18時受け付け

被災者が入居可能な全国の公営住宅、UR賃貸住宅などの情報を紹介する。入居は原則無料。希望先の住宅を管理する自治体などに電話が転送される。有料の民間賃貸住宅も案内している。

◆近隣都道県の避難者受け入れ先◆

<北海道>総合相談窓口＝道外被災県緊急支援対策本部事務局☎0120・113・926
<青森県>県生活再建・産業復興局☎017・734・9580～1
<岩手県>県内陸部の宿泊施設で受け入れ。県政策地域部の専用☎019・629・5216
<秋田県>県被災者受入支援チーム☎018・860・4504～5
<山形県>県避難者支援班☎023・625・1605、1608、023・630・3100
<新潟県>相談窓口＝東北電力ビッグスワンスタジアム☎025・287・8861。JR新潟駅南口「情報ポケット新潟」で新潟市内の避難所を紹介
<茨城県>県避難対策班☎029・301・6735
<栃木県>相談窓口＝道の駅「那須高原友愛の森」☎0287・78・3033
<群馬県>県避難者受入れ支援センター☎0270・26・9420～1、9423
<東京都>都総合防災部☎03・5320・4007
<神奈川県>県災害支援担当☎045・210・5970
<埼玉県>県福祉監査課☎048・830・3440
<千葉県>県の専用インフォメーションセンター☎043・223・3411
<山梨県>県相談窓口☎055・223・1519
<長野県>県相談窓口☎026・235・7407

◆主なバスの運行◆

<岩手県北バス>☎019・654・5814
盛岡―郡山、盛岡―宮古、盛岡―久慈など。
<岩手県交通>☎019・654・7755
釜石、大船渡、陸前高田、大槌の3市1町を除き4月4日から一般路線が通常運行になる（改正ダイヤ）。盛岡―大船渡、盛岡―陸前高田、盛岡―釜石、江刺―仙台、一関・千厩―気仙沼なども運行中。
<ミヤコーバス>☎022・771・5310
JRの復旧に合わせ、31日から利府―岩切駅で10往復を運行する（利府―仙台駅は終了）。4月1日から本塩釜―小鶴新田駅も6往復を運行（本塩釜―仙台駅間は31日まで）。仙台―石巻は1日から22往復に増便する。仙台市内から気仙沼、白石、岩沼市、亘理、山元町などへも運行。
<日本三景交通>☎022・354・5151
31日から松島―岩切で臨時バスを運行する（12往復）。仙台―多賀城も運行中。
<福島交通>☎024・531・2706（福島支社）
☎024・943・1651（郡山支社）
伊達―仙台で5往復の運行を始めた。他にいわき―郡山、福島―二本松、郡山―二本松、白河―須賀川など。相馬―仙台、相馬―福島は新地町を経由。

希望新聞

震災、原発 どこまで記載

「影響長期化」悩む教科書会社

来春から中学生が使う教科書の検定結果が30日公表された。中学生は理科や社会科で地震や原子力発電所について学ぶ。11日に発生した東日本大震災の記述はないが、子供たちの手に渡る来春までに追加することも可能だ。しかし、現在進行形の大災害をどこまで記載できるのか、各教科書会社は頭を悩ませている。

地震や津波の仕組み、原因については中学1年の理科で学ぶ。教科書各社も多めに分量を割き、阪神大震災の写真を使うなどして解説。岩手県三陸地方に大きな被害をもたらしたチリ地震（1960年）の津波を紹介する教科書もある。

未曽有の大災害となった東日本大震災も、将来的には教科書で大きく取り上げられるのは確実だ。しかし、理科の教科書の、ある編集長は「できるだけ新しいデータを使いたいが、今回の地震は影響が長期化しそうで難しい」と話す。地震は社会科（地理）でも扱うが、別の教科書会社の編集幹部は「子供向けの教材とするには慎重な配慮が必要。来春からの教科書に間に合わせるかはよく検討する必要がある」と言う。

原発の問題点をどう記述するかも悩ましい問題だ。学習指導要領は中学3年の理科で原発を含む発電所の仕組みを学ぶことになっており、検定を合格した5社すべてが取り上げた。このほか、公民や地理の教科書でも全社が原発に触れているが、いずれも安全性の記述は多くない。

3年生の理科の教科書に福島第1原発の写真を掲載している教科書会社の編集長は「写真は差し替えざるを得ない」と話すが、問題点には「学習指導要領に沿う必要がある。理科としてどう扱うかという点を考えなければならない」と慎重な姿勢。別の会社は「原発には賛成、反対いろいろな考え方があり、多面的に検討しなければならない」という。

教科用図書検定規則では、検定合格後も「更新を行うことが適切な事実」が見つかれば教科書会社は訂正申請ができる。文部科学省は東日本大震災が訂正申請の対象になるか明言しておらず、「教科書会社から話があれば対応する」と話している。【遠藤拓、井上俊樹】

被災児メッセージ宇宙へ

復興託し 財団法人が計画

東日本大震災で被災した子どもたちのメッセージを、米スペースシャトルで宇宙へ送り届けます――。日本宇宙フォーラムは30日、被災地の子どものメッセージや絵を撮影した写真をDVDに収め、今年6月のシャトル最後の飛行で国際宇宙ステーション（ISS）の日本実験棟「きぼう」へ送り、保管する計画を公表した。同フォーラムは「きぼうに復興への希望を託してほしい」と話す。

同フォーラムは宇宙開発の研究などを担う財団法人。子どもたちが考えたメッセージや絵、寄せ書き、子どもたち自身を撮影した写真をJPEG形式で電子メールで送る。あて先は、teraheart02@jsforum.or.jp。件名を「子どもの夢と希望」とし、本文に撮影場所、タイトル、参加した子どもの名前、撮影者、作品公開の可否を記載。締め切りは4月20日。それ以後も来年3月末まで受け付け、ロシアなどのロケットできぼうに運ぶ。【永山悦子】

計画停電 3日連続見送り

東京電力は30日、計画停電の実施を、31日も終日見送ると発表した。終日見送りは3日連続。東電は今後も気温が安定し、節電効果が続けば、計画停電を回避していく方針。

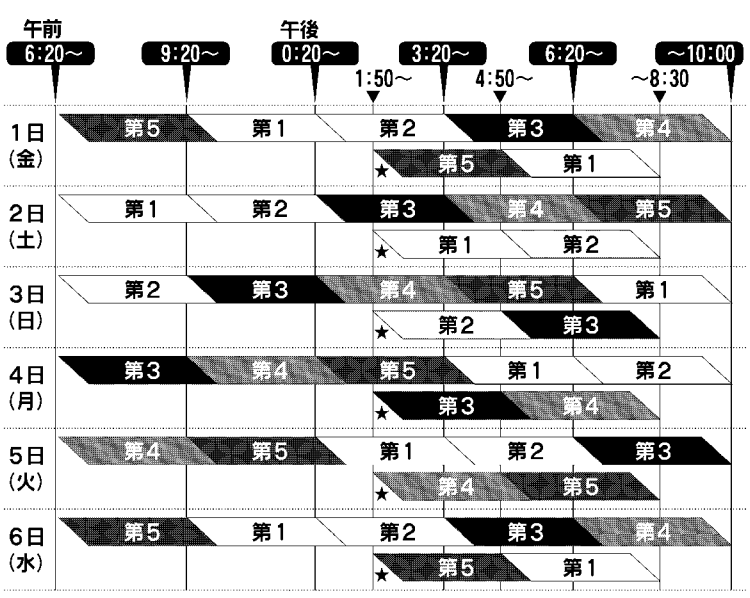
31日は気温上昇や節電効果で、夕方のピーク時の想定需要を3400万キロワットに抑制できると見込んでおり、供給能力（3800万キロワット）が上回ると判断した。30日も気温が平年並みに推移したため、計画停電を終日見送った。【青木勝彦】

×

東電は、計画停電の対象地域を25の小グループに細分化した詳細な一覧表を、同社ホームページ（http://www.tepco.co.jp/index-j.html）で各都県ごとに公開している。また、都県名、市区町村名、町名・大字名とたどっていけば、自宅などの所在地がどの小グループに属するか分かる検索サービスもホームページ上で実施している。地域分けは変更になる場合があり、ホームページを日々更新する予定。問い合わせ専用ダイヤル（0120・925・433）は土日を含め24時間対応する。

東京電力の計画停電スケジュール

各グループの停電は3時間程度ずつ。電力需要が想定を大きく上回った場合、午前中の停電予定2グループを、午後（★の時間帯）の計画停電に加えることがある



天皇、皇后両陛下 都内の避難所訪問

天皇、皇后両陛下は30日、東日本大震災の被災者が避難している東京都足立区の東京武道館を訪れた。今回の震災で両陛下が避難所を訪問するのは初めて。両陛下は被災者らと約40分間懇談した＝写真・代表撮影。

都によると、同館には計289人が避難。天皇陛下は、福島県から避難しているという養護学校講師、浮渡健次さん（34）に「子供たちは無事ですか。（4月から）学校が始まるので再会して喜ぶでしょうねえ」と話しかけた。浮渡さんは「バラバラになってしまっていますが、全員無事でした」と答え、天皇陛下は「それは良かったですね」と安堵した様子だった。

宮内庁関係者によると、両陛下は被災地を訪問して被災者を励ましし、関係者をねぎらいたいという気持ちを強く持っているが、捜索活動や原発事故対応のことも考えて控えているという。【真鍋光之】

食品表示規制を消費者庁が緩和

商品供給優先で

消費者庁は、被災地の食料品不足や全国的なミネラルウオーター類の品薄状態に対応するため、一時的に食品表示取り締まりを緩和し、商品を供給しやすくさせると発表した。

同庁によると、規制の緩和は被災地で販売したり、震災対応で供給を増やしたりしている食品が対象。包装材料の不足や計画停電による工場変更などに配慮し、同庁に連絡すれば製造元と違う工場のラベルでも認めるほか、原材料の記載順や添加物の名称などの軽微な違反であれば、当面取り締まりを見送るとした。

◆中三が民事再生法申請

青森市や盛岡市などに店舗を持つ老舗百貨店「中三（なかさん）＝本社・青森市、向中野（むかいなかの）光秀社長＝は30日、青森地裁へ民事再生法の適用を申請し、財産の保全命令を受けた。負債総額は約122億円。従業員570人は4月末で解雇。消費低迷に加え、東日本大震災や14日の盛岡店爆発事故で売り上げが大幅に落ち込んだ。

1896年創業。北東北で5店舗体制だった98年8月期には約416億円の売り上げを計上、地元百貨店として抜群の知名度を誇った。今期は回復基調にあったが、大震災以降に売り上げが急速に落ち込み、11人が死傷した盛岡店の爆発事故による同店の休業が経営をさらに悪化させた。

◆日弁連合格者減を提言

司法試験の年間合格者を3000人程度に増やすとした02年の政府方針に対し、日本弁護士連合会は30日、現状の2100～2200人から削減するよう求める提言を公表した。09年に現状維持を求めた。09年の提言を公表したが、削減を求めたのは初めて。具体的な削減数については「会内で意見が分かれた」として示さなかった。

提言で日弁連は法曹人口の増員策で「弁護士だけが急増した結果、現実の需要とのバランスを欠き、新人弁護士の経験・能力の獲得に影響を及ぼしている」などと指摘。政府方針は妥当性を欠いているとして「相当数」の削減を求めている。

◆「ゼロ日接見」半年で62件

経済的余裕がない容疑者が国費で弁護士をつけられる被疑者国選弁護制度で、日本弁護士連合会は30日、正当な理由がないのに担当弁護士が一度も接見しなかった「ゼロ接見」が、半年間で少なくとも62件あったと発表した。日弁連は「問題のあるケースがなくなるよう、意識向上に努める」としている。

全国の弁護士会を通じて、弁護士が昨年4～9月に受任したケースを調査した。担当弁護士が一度も接見していなかったのは493件で、431件は「受任直後に容疑者が釈放された」などの正当な理由があった。

◆アストラゼネカが控訴

肺がん治療薬「イレッサ」（一般名・ゲフィチニブ）の副作用死を巡る訴訟で、被告の輸入販売元・アストラゼネカ（大阪市）は30日、アストラゼネカに計1760万円の賠償を命じた東京地裁判決（23日）を不服として、東京高裁に控訴した。会見した代理人の弁護士は「承認当時の注意喚起は適切だったと確信している」と話した。アストラゼネカは自社だけに賠償を命じた先月の大阪地裁判決に対しても控訴している。

◆こうのとり再突入成功

国際宇宙ステーション（ISS）に物資を輸送した無人補給機HTV（愛称・こうのとり）2号機が30日午後0時9分ごろ、大気圏に再突入した。宇宙航空研究開発機構（JAXA）によると、使用済み実験用品など約2・4トンを詰め込んだ同機は、予定通りほとんどが燃え尽き、データ送信装置が南太平洋に着水した。

髄液漏れ訴訟で被害者逆転勝訴

名古屋高裁

交通事故で脳脊髄液減少症（髄液漏れ）を発症したかが争われた訴訟で、名古屋高裁が今月18日に、事故と発症との因果関係を認める判決を言い渡していたことが分かった。高田健一裁判長は、日本神経外傷学会の診断基準から「（被害者の）疾病が脳脊髄液減少症であることは明らかだ」と指摘し、被害者の損害などを1564万円余と認定。加害者に対し未払い分588万円余の支払いを命じた。

1審の津地裁伊勢支部は髄液漏れを否定した。2審判決は髄液漏れについて、国が研究中であることなどを挙げながら、「（発症のメカニズムに関する説明は）医学的な正当性を著しく欠くとはいえない」とした。

判決によると、会社員の男性（40）は03年10月、歩道を歩行中、乗用車に後ろからはねられ、頭と腰を強打して病院に搬送された。06年3月に髄液漏れと診断され、治療を受け完治した。【渡辺暖】

挑戦権獲得 羽根か張か

本因坊戦 挑戦リーグ最終戦

第66期本因坊戦リーグ（毎日新聞社主催）の最終7回戦の4局が31日、名古屋市の日本棋院中部総本部などで行われる。

5勝1敗でトップの羽根直樹九段（34）は王立誠九段（52）と対戦。4勝2敗で追う張栩棋聖（31）は瀬戸大樹七段（27）と戦う。羽根が敗れ、張が勝った場合は後日、プレーオフ。それ以外のケースなら、羽根が本因坊道吾（32）への挑戦権を獲得する。【金沢盛栄】

第3081回ナンバーズ数字選択式全国自治宝くじ（30日・カッコ内は口数）
ナンバーズ4 2072
ストレート 90万1500円（28）
ボックス 7万5100円（147）
セット・ストレート 48万8300円（90）
セット・ボックス 3万7500円（997）
ナンバーズ3 352
ストレート 8万6600円（100）
ボックス 1万4400円（584）
セット・ストレート 5万500円（176）
セット・ボックス 7200円（1240）
ミニ・下2ケタ 8600円（394）